

使用工具 テスター、圧着ペンチ、ニッパ、コンビネーションレンチ、ラチェットレンチ、ドライバー、ウエス
ハサミ、ハンダごて、ハンダ、ビニールテープ、パーツクリーナー、ドライヤー

構成部品



※ (1)～(24)まではダイレクト点火仕様車への取り付け説明書となります。

※ (25)～(45)まではディスビ内蔵コイル仕様車への取り付け説明書となります。

Ignite VSD **alpha 16V** の取り付け方法

1) 点火コイルのコネクターを外してください。

(装着例は直列4気筒車)



2) 点火コイルからコネクターを一旦外し、イグニッションキーをONにして点火コイルコネクターの12V電圧ハーネスを確認してください。
確認後はイグニッションキーをOFFしてバッテリーのマイナス端子を外してください。



3) 本体を固定する位置を決め、Ignite VSD **alpha 16v** 本体にステーを貼り付けてください。

本体脱落防止の為、次の2点は必ず守ってください。

(3-1) Ignite VSD alpha 16v 本体やステーから油分・水分を取り除く為、
パーツクリーナーやアルコールで脱脂を行なってください。

(3-2) Ignite VSD alpha 16v 本体やステーが冷えている場合にはドライ
ヤーなどで暖めてから両面テープを貼ってください。

**本体をエンジンに固定することは振動などで内部回路を破損
する恐れがありますので必ずボディ側に取り付けてください。**

4) Ignite VSD **alpha 16v** 本体を固定してください。

取り付け位置は装着例です。



5)ハーネスの加工

5-1)12Vハーネスをコネクタの後ろでカットして付属のギボシ端子を圧着してください。

(12V電源ハーネス側にメス端子、コイルコネクター側にオス端子をそれぞれ圧着してください。)



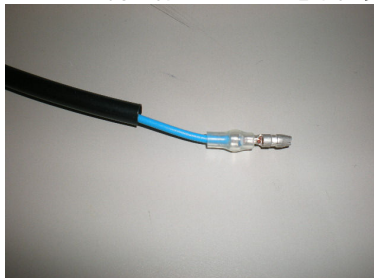
**ギボシ圧着部分は必ず
はんだ付けをしてください。**

5-2)本体内蔵リレーに信号供給するハーネス以外のメスギボシ端子に絶縁の為、付属の防水キャップを取り付けてください。

**12Vハーネスの一箇所からリレーに信号供給をする為
リレーの青ハーネスと接続してください。**



5-3)付属の青色ハーネスを本体装着位置までの長さにカットし、5X6チューブに入れ両端に付属のオスギボシ端子を圧着してください。



**ビニールチューブに巻きぐせが付いて
電線が入りにくい場合には、ドライヤー
にてチューブ全体を暖めて、まっすぐに
伸ばしてからシリコンスプレーを吹き付
けてから電線を通してください。**

5-4)付属のオレンジハーネスの片側にメスギボシ端子を圧着し、5X6チューブに入れてください。

(長さを測り、気筒数分製作してください。)



**ギボシ圧着部分は必ず
はんだ付けをしてください。**

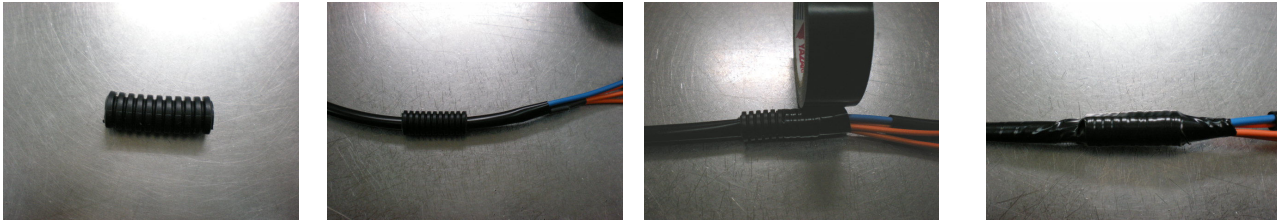
5-5)長さを合わせてカットしたオレンジ色ハーネスとVSDに接続する為のオレンジ色ハーネスを適当な長さにカットし、付属のスリーブにて圧着するかハンダ付けしてください。



圧着部分は必ずはんだ付けをしてください。

5-6)付属の収縮チューブを被せドライヤーなどで暖めて収縮させ、絶縁をしてください。





7) 点火コイルコネクタ側のギボシ端子にオレンジ色ハーネスを接続してください。



8) 赤色ハーネスをバッテリーのプラスターミナルから本体装着位置までの長さにカットし、5X6チューブに入れ6mmターミナルを圧着してください。

9) 黒ハーネスの長さを決め、平ギボシターミナル・6mmターミナルをそれぞれ圧着してください。

10) 配線図に従い、同色のハーネスをそれぞれ接続してください。

コネクタは ” カチッ ” と音がするまでしっかりと入れてください。

33) 赤ハーネス片側をバッテリーのプラスターミナル、黒ハーネスをバッテリーのマイナスターミナルにそれぞれ取り付けてください。

11) イグニッションキーをONにしてIgnite VSD **alpha 16v** 本体のLEDが点灯している事を確認してください。
(この時点ではエンジンは始動しないでください。)



**ギボシ圧着部分は必ずはんだ付けをしてください。
汎用ハーネスでの不具合検査依頼の場合、圧着部分の不良が多く見られますので、はんだ付けをしていない場合には、本体も含め保障対象外となりますのでご注意ください。**

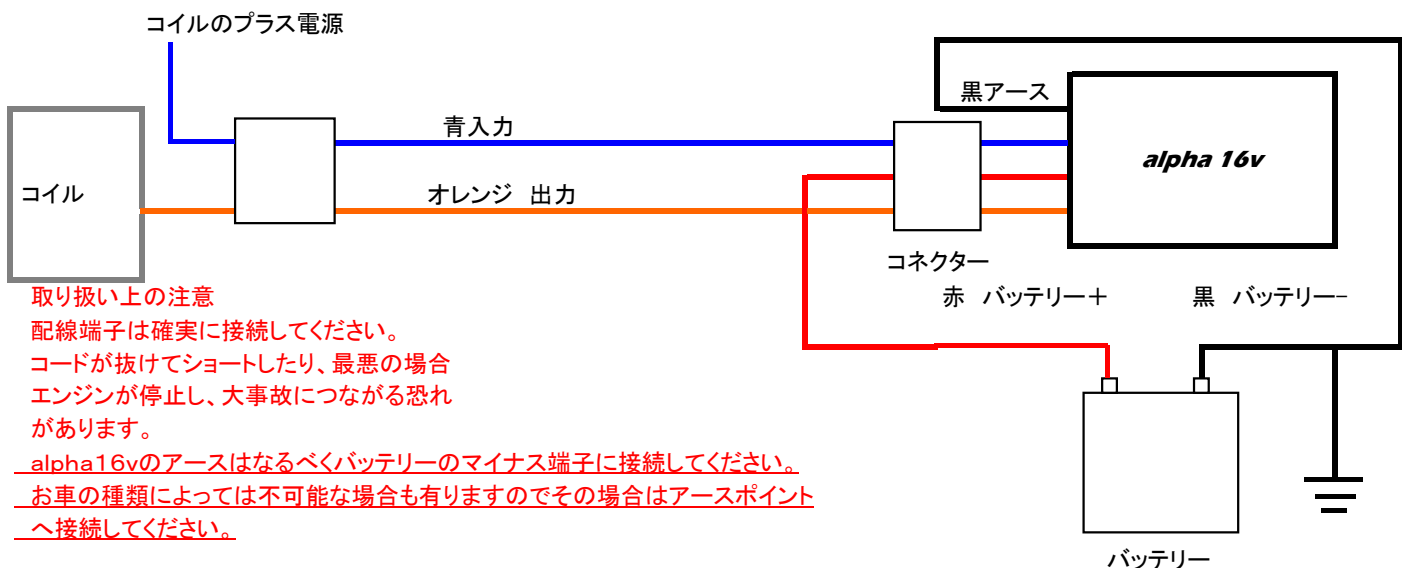
12) エンジンを始動し、異常のない事を確認して完成です。

その他注意事項

エンジン始動時などバッテリー電圧が一時的に低下した場合やバッテリーが弱っている場合には本体16V回路に過電流が流れ、一時的にLEDランプが消灯する場合がありますが本体の異常ではありません。この場合にはセルモーターや本体保護の為バッテリーの交換をしてください。

なお、LEDが消灯したままの場合には、本体の異常が考えられますので、お買い上げいただきました販売店様にご相談ください。

※ Ignite VSD alpha 16v 接続方法



取り扱い上の注意

配線端子は確実に接続してください。
コードが抜けてショートしたり、最悪の場合エンジンが停止し、大事故につながる恐れがあります。

alpha16vのアースはなるべくバッテリーのマイナス端子に接続してください。
お車の種類によっては不可能な場合も有りますのでその場合はアースポイントへ接続してください。

重要事項

本体内部に水分の混入の形跡がある場合には、保障対象外となりますのでお取付位置には十分ご注意くださいようお願いいたします。

13) 点火コイルのコネクターを外してください。

(装着例は直列4気筒車)



14) 点火コイルからコネクターを一旦外し、イグニッションキーをONにして点火コイルコネクターの12V電圧ハーネスを確認してください。確認後はイグニッションキーをOFFしてバッテリーのマイナス端子を外してください。



15) 本体を固定する位置を決め、Ignite VSD **alpha CI** 本体にステアーを貼り付けてください。

本体脱落防止の為、次の2点は必ず守ってください。

(15-1) Ignite VSD alpha CI 本体やステアーから油分・水分を取り除く為、パーツクリーナーやアルコールで脱脂を行なってください。

(15-2) Ignite VSD alpha CI 本体やステアーが冷えている場合にはドライヤーなどで暖めてから両面テープを貼ってください。

本体をエンジンに固定することは振動などで内部回路を破損する恐れがありますので必ずボディ側に取り付けてください。



16) Ignite VSD **alpha CI** 本体を固定してください。

取り付け位置は装着例です。



17) ハーネスの加工

17-1) 12Vハーネスをコネクターの後ろでカットして付属のギボシ端子を圧着してください。

(12V電源ハーネス側にメス端子、コイルコネクター側にオス端子をそれぞれ圧着してください。)



ギボシ圧着部分は必ずはんだ付けをしてください。

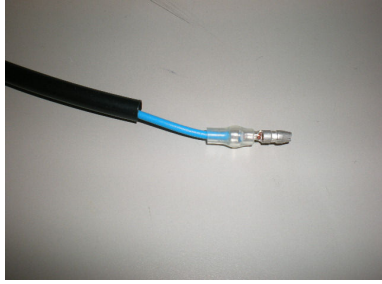
17-2) 本体内蔵リレーに信号供給するハーネス以外のメスギボシ端子に絶縁の為、付属の防水キャップを取り付けてください。

12Vハーネスの一箇所からリレーに信号供給をする為青ハーネスと接続してください。



17-3) 付属の青色ハーネスを本体装着位置までの長さにカットし、5X6チューブに入れ両端に付属のオスギボシ端子を圧着してください。

No5



ビニールチューブに巻きぐせが付いて電線が入りにくい場合には、ドライヤーにてチューブ全体を暖めて、まっすぐに伸ばしてからシリコンスプレーを吹き付けてから電線を通してください。

17-4) 付属のオレンジハーネスの片側にメスギボシ端子を圧着し、5X6チューブに入れてください。(長さを測り、気筒数分製作してください。)



ギボシ圧着部分は必ずはんだ付けをしてください。

17-5) 長さを合わせてカットしたオレンジ色ハーネスとVSDに接続する為のオレンジ色ハーネスを適当な長さにカットし、付属のスリーブにて圧着するかハンダ付けしてください。

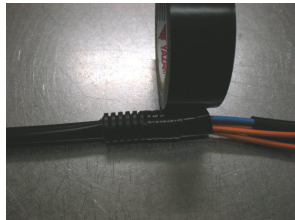
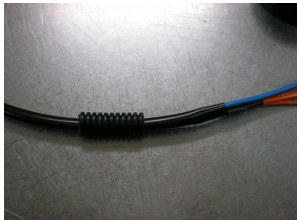


圧着部分は必ずはんだ付けをしてください。

17-6) 付属の収縮チューブを被せドライヤーなどで暖めて収縮させ、絶縁をしてください。



18) オレンジハーネスのジョイント部分に7パイコルゲートチューブを被せる



19) 点火コイルコネクター側のギボシ端子にオレンジ色ハーネスを接続してください。



ギボシ圧着部分は必ずはんだ付けをしてください。汎用ハーネスでの不具合検査依頼の場合、圧着部分の不良が多く見られますので、はんだ付けをしていない場合には、本体も含め保障対象外となりますのでご注意ください。

20) 黒ハーネスを製作し、バッテリーのマイナス端子に接続してください。

21) 配線図に従い、同色のハーネスをそれぞれ接続してください。
コネクターは ” カチッ ” と音がするまでしっかりと入れてください。

- 22) ハーネス類がファンベルトやスロットルワイヤーなどに接触しないよう付属のタイラップで固定してください。
注意 配線のショート事故を防止する為、必要に応じハーネスを市販のコルゲートチューブなどで保護してください。
 23) 赤ハーネスは使用しませんので、付属のタイラップにて固定するかカットしてください。

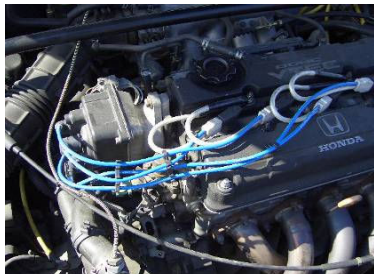
24) エンジンを始動し、異常のない事を確認して完成です。

Ignite VSD *alpha 16v* シングルコイル車取り付け説明書

ホンダ車の場合 装着例 シビック(EG6)

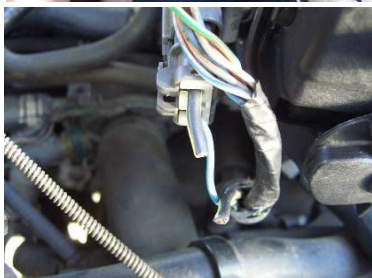
25) ディスビキャップ、ローターを取り外してください。

(車両によりコネクタ形状・ハーネス色が違いますので注意してください。)



インテグラ(DC2)

26) 点火コイルの+ハーネスをテスターにて確認し、コイル用+ハーネスを切断し、車両側にオスギボシ端子
 電源側にメスギボシ端子を圧着してください。その後、ローター・ディスビキャップを取り付けてください。



ホンダ車以外 装着例 日産セレナ

25) ディスビからコネクタを外し、テスターを使用してコイル電源位置を確認してください。



**ギボシ圧着部分は必ず
はんだ付けをしてください。**

26) コネクタのビニールテープを剥がし、電源線を切断し、車両側にメスギボシ端子、コネクタ側にオスギボシ
 端子をそれぞれ圧着してください。



27) 本体を固定する位置を決め、Ignite VSD **alpha 16v** 本体にステーを貼り付けてください。

No7



本体脱落防止の為、次の2点は必ず守ってください。

(3-1) Ignite VSD alpha 16v 本体やステーから油分・水分を取り除く為、パーツクリーナーやアルコールで脱脂を行なってください。

(3-2) Ignite VSD alpha 16v 本体やステーが冷えている場合にはドライヤーなどで暖めてから両面テープを貼ってください。

本体をエンジンに固定することは振動などで内部回路を破損する恐れがありますので必ずボディ側に取り付けてください。

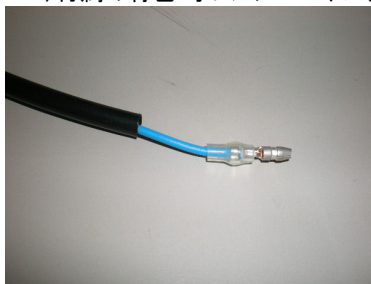
28) Ignite VSD **alpha 16v** 本体を固定してください。



取り付け位置は装着例です。

ギボシ圧着部分は必ずはんだ付けをしてください。

29) 付属の青色・オレンジハーネスを本体装着位置までの長さにカットし、5X6チューブに入れ、オスギボシ端子を 圧着してください。



ビニールチューブに巻きぐせが付いて電線が入りにくい場合には、ドライヤーにてチューブ全体を暖めて、まっすぐに伸ばしてからシリコンスプレーを吹き付けてから電線を通してください。

30) 赤色ハーネスをバッテリーのプラスターミナルから本体装着位置までの長さにカットし、5X6チューブに入れ6mmターミナルを圧着してください。

31) 黒ハーネスの長さを決め、平ギボシターミナル・6mmターミナルをそれぞれ圧着してください。

32) 配線図に従い、同色のハーネスをそれぞれ接続してください。
コネクタは ” カチッ ” と音がするまでしっかりと入れてください。

33) 赤ハーネス片側をバッテリーのプラスターミナル、黒ハーネスをバッテリーのマイナスターミナルにそれぞれ取り付けてください。

34) イグニッションキーをONにしてIgnite VSD **alpha 16v** 本体のLEDが点灯している事を確認してください。
(この時点ではエンジンは始動しないでください。)



その他注意事項

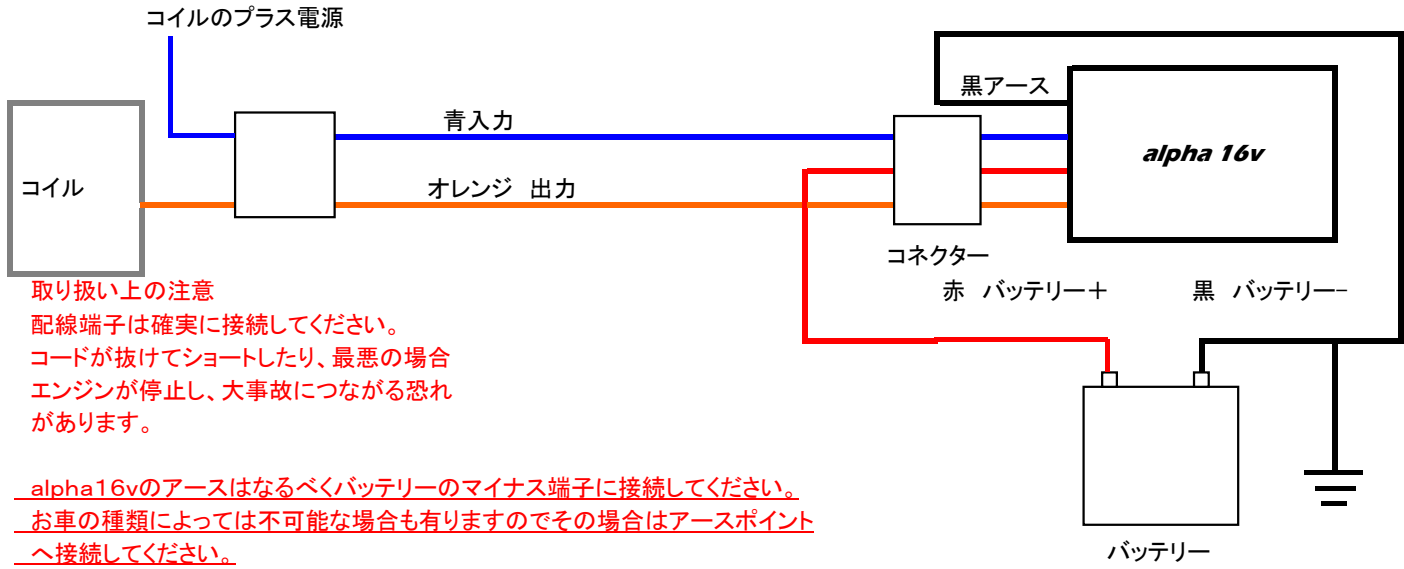
エンジン始動時などバッテリー電圧が一時的に低下した場合やバッテリーが弱っている場合には本体16V回路に過電流が流れ、一時的にLEDランプが消灯する場合がありますが本体の異常ではありません。この場合にはセルモーターや本体保護の為、バッテリーの交換をしてください。

なお、LEDが消灯したままの場合には、本体の異常が考えられますので、お買い上げいただきました販売店様にご相談ください。

35) エンジンを始動し、異常のない事を確認して完成です。

ギボシ圧着部分は必ずはんだ付けをしてください。

汎用ハーネスでの不具合検査依頼の場合、圧着部分の不良が多く見られますのではんだ付けをしていない場合には、本体も含め保障対象外となりますのでご注意ください。



取り扱い上の注意
 配線端子は確実に接続してください。
 コードが抜けてショートしたり、最悪の場合
 エンジンが停止し、大事故につながる恐れ
 があります。

alpha16vのアースはなるべくバッテリーのマイナス端子に接続してください。
お車の種類によっては不可能な場合も有りますのでその場合はアースポイント
へ接続してください。

重要事項
 本体内部に水分の混入の形跡がある場合には、保障対象外となりますのでお取付位置には十分ご注意くださいようお願いいたします。

Ignite VSD alpha CI シングルコイル車取り付け説明書

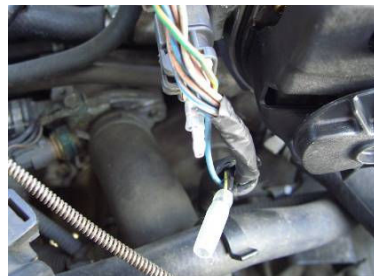
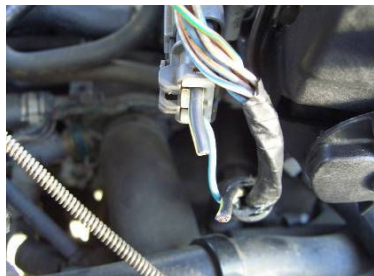
ホンダ車の場合 装着例 シビック(EG6)

36) ディスビキャップ、ローターを取り外してください。
 (車両によりコネクタ形状・ハーネス色が違いますので注意してください。)



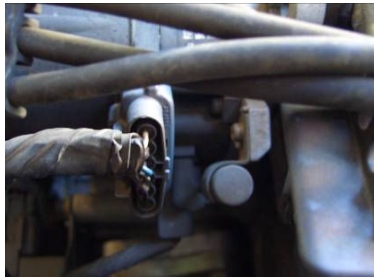
インテグラ(DC2)

37) 点火コイルの+ハーネスをテスターにて確認し、コイル用+ハーネスを切断し、車両側にオスギボシ端子
 電源側にメスギボシ端子を圧着してください。その後、ローター・ディスビキャップを取り付けてください。



ホンダ車以外 装着例 日産セレナ

36) ディスビからコネクタを外し、テスターを使用してコイル電源位置を確認してください。



**ギボシ圧着部分は必ず
 はんだ付けをしてください。**

37)コネクターのビニールテープを剥がし、電源線を切断し、車両側にメスギボシ端子、コネクター側にオスギボシ端子をそれぞれ圧着してください。



38) 本体を固定する位置を決め、Ignite VSD **alpha 16v** 本体にステーを貼り付けてください。

本体脱落防止の為、次の2点は必ず守ってください。

(38-1) Ignite VSD alpha 16v 本体やステーから油分・水分を取り除く為、パーツクリーナーやアルコールで脱脂を行なってください。

(38-2) Ignite VSD alpha 16v 本体やステーが冷えている場合にはドライヤーなどで暖めてから両面テープを貼ってください。

本体をエンジンに固定することは振動などで内部回路を破壊する恐れがありますので必ずボディ側に取り付けてください。



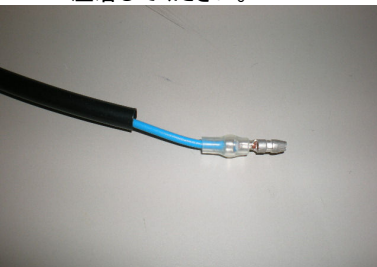
39) Ignite VSD **alpha 16v** 本体を固定してください。

取り付け位置は装着例です。

ギボシ圧着部分は必ずはんだ付けをしてください。



40) 付属の青色・オレンジハーネスを本体装着位置までの長さにカットし、5X6チューブに入れ、オスギボシ端子を圧着してください。



ビニールチューブに巻きぐせが付いて電線が入りにくい場合には、ドライヤーにてチューブ全体を暖めて、まっすぐに伸ばしてからシリコンスプレーを吹き付けてから電線を通してください。

41) 黒ハーネスの長さを決め、平ギボシターミナル・6mmターミナルをそれぞれ圧着してください。

42) 配線図に従い、同色のハーネスをそれぞれ接続してください。
コネクターは ” カチッ ” と音がするまでしっかりと入れてください。

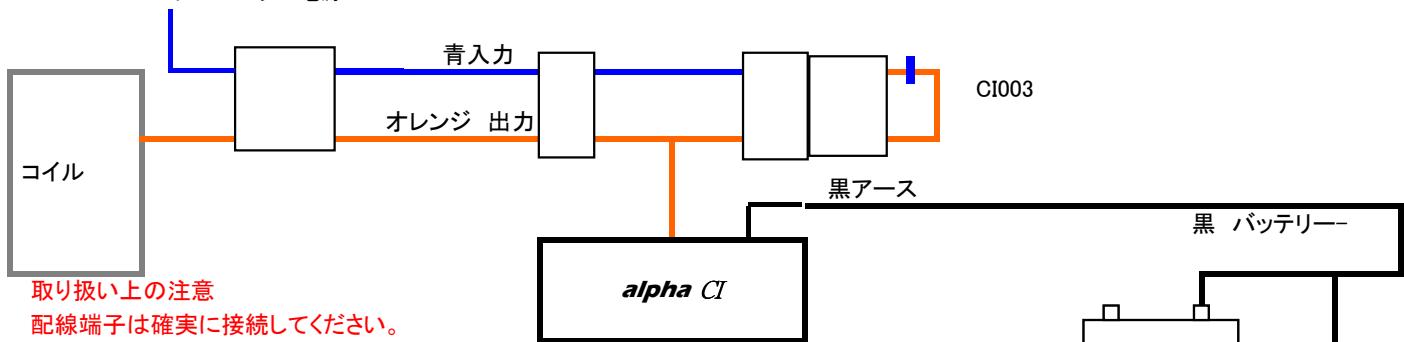
43) ハーネス類がファンベルトやスロットルワイヤーなどに接触しないよう付属のタイラップで固定してください。
注意 配線のショート事故を防止する為、必要に応じハーネスを市販のコルゲートチューブなどで保護してください。

44) 赤ハーネスは使用しませんので、付属のタイラップにて固定するかカットしてください。

45) エンジンを始動し、異常のない事を確認して完成です。

※ Ignite VSD alpha CI の接続方法

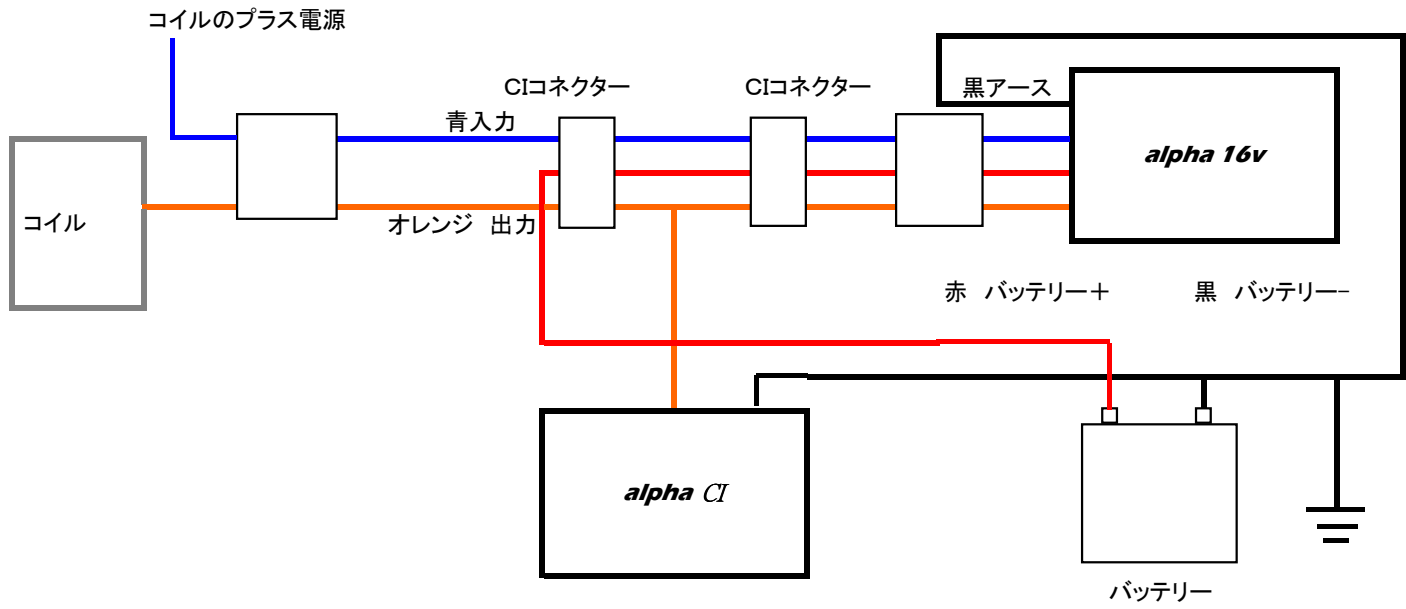
コイルのプラス電源



取り扱い上の注意

配線端子は確実に接続してください。

コードが抜けてショートしたり、最悪の場合エンジンが停止し、大事故につながる恐れがあります。



重要事項
 本体内部に水分の混入の形跡がある場合には、保障対象外となりますのでお取付位置には十分ご注意くださいようお願いいたします。